

木曽川中流域自転車で繋ぐかわまちづくり協議会

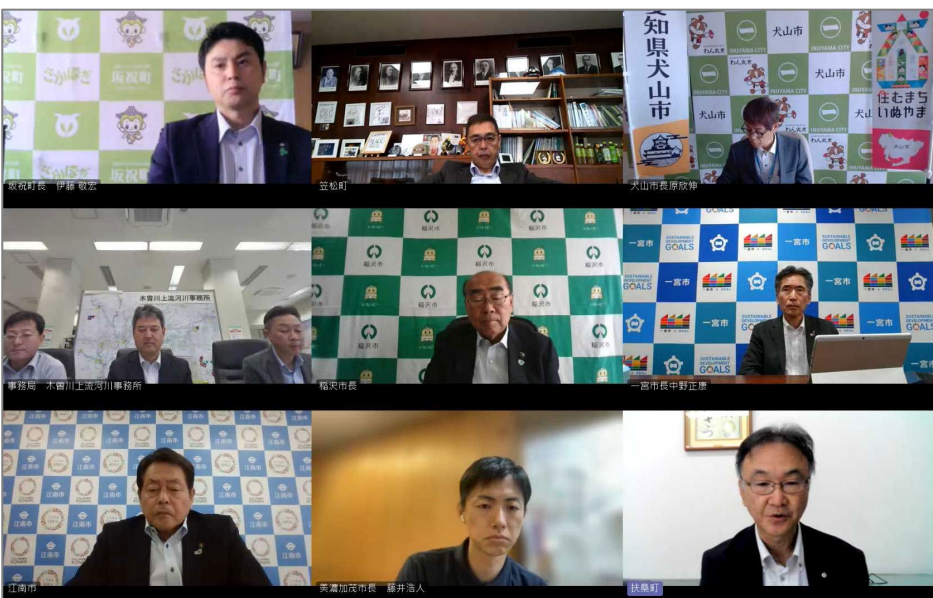
第2回協議会 開催 (R7.5.30)



国土交通省 中部地方整備局

○第2回協議会には、委員13名、オブザーバー12名、その他関係者7名、総勢32名が参加。木曽川中流域自転車で繋ぐかわまちづくり計画(最終案)の内容について了承されました。

○計画案の了承の後の意見交換では、委員から、「市民に身近に感じてもらえる木曽川となるよう取り組みたい」、「インバウンド需要の視点も持ち、サイクリングロードとまちの歴史をうまく繋げたい」、「立ち寄れる場所を提供したい」、「観光に繋げたい」といった意見が出され、計画の実現に向けて今後の取り組みへの意欲が示されました。



日時・開催方法	令和7 年5 月30 日(金)9:00～10:00 ・ WEB
委員	羽島市市長(代理)、美濃加茂市市長、各務原市市長(代理)、可児市市長(代理)、岐南町町長(代理)、笠松町町長、坂祝町町長、一宮市市長、犬山市市長、江南市市長、稲沢市市長、扶桑町町長、中部地方整備局木曽川上流河川事務所長



美濃加茂市
藤井市長

新丸山ダムのインフラも含め、川と一体となったサイクリングロードに向け、我々も頑張りたい。美濃加茂から各務原へのサイクリングロードが繋がることを期待している。昨今のインバウンドの中山道需要の視点もしっかりと持ち、サイクリングロードと河川、歴史をうまく繋げたい。



笠松町
古田町長

サイクリングでにぎわい創出や交流人口の増加に繋げたい。ウマ娘で知名度が上がった笠松をサイクリングに繋げるべく、この秋にサイクリングに特化したイベントをみなと公園で実施したい。既存の歩道、自転車道も再整備し、サイクリングの地域づくりに貢献していきたい。



一宮市
中野市長

一宮市では、新濃尾大橋の開通を契機として、地域住民において木曽川に対する関心が高くなっている。混雑緩和の期待とともに、この新しい橋で盛り上がっている。さらに木曽川の魅力アップ、そして自転車を活用したかわまちづくりを、しっかりと進めていきたい。



坂祝町
伊藤町長

坂祝町と各務原市を結ぶ道路が無いことで大変苦慮しており、ここを繋げていけたらという思いがある。美濃加茂と各務原の通過点のため、「坂祝町の森の散策路」のような場所を作り、憩いの場所を提供できるように頑張っており、参りたい。



犬山市
原市長

犬山市では自転車活用推進計画を独自に策定予定。さらに内田エリアと栗栖エリアのかわまちづくりの登録に向けて準備している。木曽川と犬山城のコラボする贅沢な空間を活かし、市民に身近に感じてもらえる木曽川となるよう、かわまちづくりに取り組みたい。



江南市
澤田市長

江南市はサイクリングロード整備がほぼ完了。市町が有機的に繋がる大切さを感じているので、未整備区間等の整備をお願いしたい。本市の施設もサイクリング等の拠点になる。市民の健康、防災、観光に繋げることが大事なので、この計画をしっかりと進めていただきたい。



稲沢市
加藤市長

稲沢市では、日本でも珍しい河畔砂丘を活かし、サップやウインドサーフィン、シクロロス大会も行われている。ここにサイクリングロードが繋がることが、まさに自転車に繋ぐかわまちづくりだと思う。早く繋がり、人々が交流し、そして観光客も訪れていただくことを心から願っている。



扶桑町
鯖瀬町長

扶桑町では、建設が進む新愛岐大橋に隣接する緑地公園で、多くの方に来ていただけるよう再整備を計画している。本町は、木曽川に接続する距離は非常に短い。通過点ではなく多くの方に立ち寄っていただけるような事を進めて、まちづくりに繋げたい。